

平成24年度第1回碧南市スポーツ推進審議会 会議録

- 1 日時
平成24年4月18日（水）午後1時30分～午後2時35分
- 2 場所
碧南市臨海体育館 会議室
- 3 出席者及び欠席者
 - (1) 出席者
杉浦昌彦、杉浦民生、石川信夫、鈴木米生、鳥居治、角谷竜彦、有本征世、伊藤泰子、鈴木和代、角谷多恵子、長田良次、松井高善
 - (2) 欠席者
生田譲、大竹有二、杉浦宏幸、伴野義雄、古久根久美子
 - (3) 事務局職員
スポーツ課長 杉本広則、スポーツ課課長補佐 石川政仁・杉浦 潤、
スポーツ課主査 足立淳、藤浦威明、小嶋智子
- 4 傍聴者 0人
- 5 議題
 - (1) 平成24年度 社会体育事業計画について
 - (2) その他
- 6 議事の要旨
 - (1) 教育長あいさつ及び辞令交付（長田教育長）
 - (2) 会長の任命及び副会長の指名
会長は教育委員会より、杉浦昌彦様を任命、副会長は会長からの指名より、杉浦民生様に決定した。
 - (3) 議題
 - (1) 平成24年度 社会体育事業計画について
事務局が会議資料に基づき、社会体育事業計画について説明した。その後、審議した結果、事務局案が了承された。

<主な意見・質疑>

- 【委員1】小学校プール開放日（昨年度は16日間、今年度は7日間）はなぜ期間が短くなったのか。
- 【事務局】予算に限りがあるので日数を短くし、その分、利用者を増やすためお盆の時期に集中させた。昨年度は、約7千2百人利用者がいたが、そのうちお盆の時期に約3千～4千人が利用した。
- 【委員2】指導者のレベルアップを図るため、スポーツマッサージの講習会を開催予定だと説明していたが、講習会の対象は誰か。
- 【事務局】スポーツ少年団の指導者、体育協会会員、学校の先生、へきなん南部総合型スポーツクラブの先生等へ声をかける予定。

- 【委員 3】以前あったスポーツ教室の硬式テニスは、なぜなくなってしまったのか。
- 【事務局】初心者を対象にしているが、経験者の活動の場になってきていたため、見直しをし、なくした。
- 【委員 4】海外の都市やスポーツ団体との積極的交流とあったが、碧南市卓球協会は昨年、濟州島の選手と交流をしました。
- 【事務局】他種目にわたり、スポーツ交流をしている千葉県松戸市を参考に検討をしていきたい。
- 【委員 5】学校施設開放の利用は社会体育団体と子ども会との兼ね合いが大切だが、昨年度大きなトラブルはなかったか。また、今後も最低 1 ヶ月前に利用予約をすればよいか。
- 【事務局】大きなトラブルはない。今後も最低 1 ヶ月前にお願いをしたい。
- 【委員 6】卓球台など臨海体育館で利用しなくなった備品を公民館へまわしてもらえないか。
- 【事務局】新しい卓球台など備品を購入していないので、まわすことは難しい。新しく購入した場合は、考えていきたい。
- 【委員 6】指導者のレベルアップを図るため、スポーツマッサージの講習会を行うのではなく、個別種目の指導者の質のレベルアップを図るような講習会を行うのはどうか。
- 【事務局】個別種目の講師等に対する指導については、スポーツ少年団と一緒に実施をしている。市が実施している指導者のレベルアップを図る講習会については、1 つの競技に特化するの難しいので、全般の競技にわたるような講習会の内容になる。
- 【教育長】スポーツ指導のリーダー養成は、各種目の技術指導に偏ることなく、技術指導以外の総合的な指導者講習会をみつけていきたい。

(2) その他

事務局から 5 月 30 日（水）に開催するチャレンジデーについて案内をした。